

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 7月 26日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
トヨタ紡織滋賀株式会社  
代表取締役社長 村田 幹夫

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例  
第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	トヨタ紡織滋賀株式会社 代表取締役社長 村田 幹夫
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14

1 事業者の概要

事業所の名称	トヨタ紡織滋賀株式会社					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地14					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	自動車部分品・付属品製造業					
従業員の数	250	人	操業時間	15	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	台	照明設備 177 台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	13 台	その他 成形施設 12台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和4	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	令和6	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

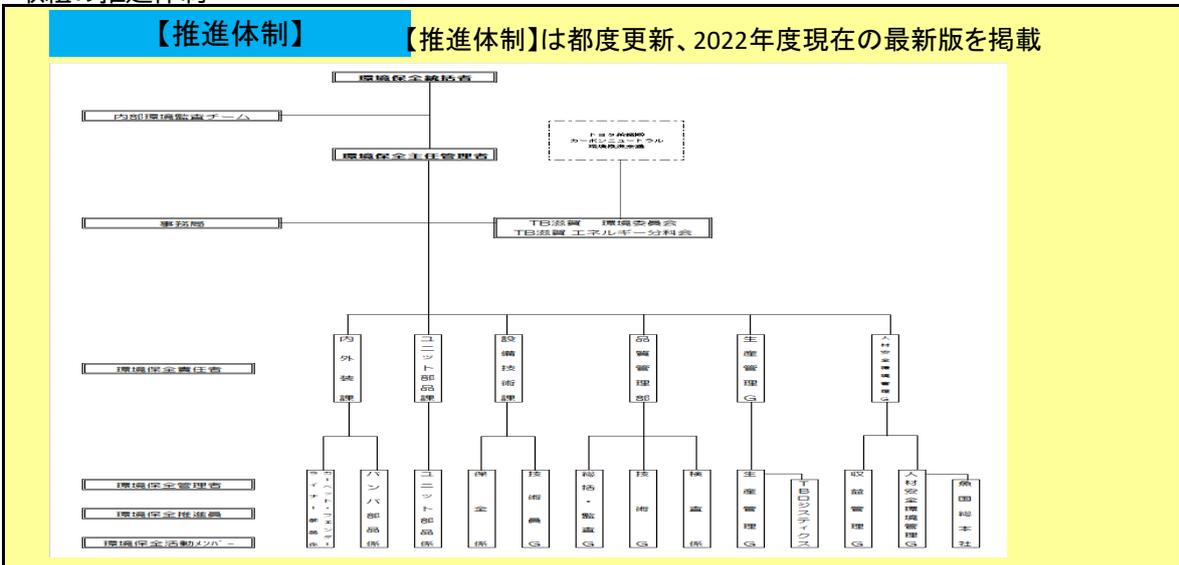
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

- 1.環境に関する法規制・規制並びに当社の組織が同意したその他の要求事項を遵守すると共に、自動車部品等の生産活動により環境へ及ぼす影響を予測・評価・改善して目的・目標の確実な達成により環境保全の継続的向上に努めます。
- 2.生産に伴う環境汚染の未然防止のみならず省エネルギー推進、CO<sub>2</sub>排出量削減、廃棄物低減、省資源等の環境技術の導入と改善活動を通じて、環境負荷を最小限にする様全員参加で取り組みます。
- 3.トヨタ紡織グループの社員としての誇りを持ち、一人ひとりが企業、社会の一員として地域社会との対話を大切にすると共に地域における環境保全活動に積極的に協力し、地域と調和のとれた工場づくりを目指します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- トヨタ紡織グループ「2050年環境ビジョン」のもと、トヨタ紡織滋賀では「2030年 TB滋賀 環境vision」を掲げております。基本理念を「地球環境に配慮した事業活動を全員参加で行い、社会に貢献する」として、特に全員参加に拘り、環境保全活動の3本柱として「(1)利益に繋がるCO<sub>2</sub>削減」「(2)3Rの推進」「(3)地域社会への貢献」を、「決めたことを全員に理解させ、守らせる・確認するを愚直に実行」しています。
1. 再生可能エネルギーの拡充において、PPAモデルと補助金を活用し太陽光発電設備の導入 1101.54kw(パネル3,338枚)の太陽光発電設備を導入
  2. TB省エネ40アイテム及びTB滋賀独自の省エネ改善の推進
    - ・「低操業によるエネルギー効率悪化に負けない」「1」秒に拘ったE-JIT活動(Δ55.36t-CO<sub>2</sub>/年)
      - ①「1」秒に拘り日々の生産立上げ時間を短縮
        - 作業者と各ライン責任者がペアとなり、作業内容の動画(OTRS)を見て作業の「やめる・減らす・かえる」検証
        - ユニット成形機立上げにおけるラップ作業化(型外パージ・条件チェック)による手待ち解消により日々の生産立上げ時間短縮
      - ②ブレーカーOFF活動を活性化させるべく、財務への貢献を含めた環境道場活用による全員への理解と周知
        - 現地現物での全設備再確認とブレーカーOFF可能設備の見える化、環境道場を活用した
        - 全員へのブレーカーOFF活動の理解・腹落ち深化
    - ・パンパ塗装 PPH向上による稼働時間短縮 冬季超高負荷を1直連続でやりくり(Δ50t-CO<sub>2</sub>/年)
    - ・変則稼働に対応したユーティリティー設備のミニマム稼働による省エネ(Δ7.8t-CO<sub>2</sub>/年)
    - 工場エア一圧0.5MPa ⇒ 0.5MPaに低圧化、冷却水ポンプ2/5台停止しE-JIT化

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	太陽光発電設備の導入、運用	令和4年度～	
2	設備導入	冷却塔ファンのINV化による送风量ミニマム化	令和5年度～	
3	運用改善	空調システム タイマーによる自動制御システムの導入	令和5年度～	
4	設備導入	かす池循環ポンプモーターのINV化	令和5年度～	
5	設備導入	旧型モーター、省エネモーターへの更新	令和5年度～	

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		無し		
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>トヨタ紡織グループ「2025年環境取り組みプラン」のもと、①日常改善②最先端・革新的技術の開発・導入③再生可能エネルギー導入といった取り組みを加速し、CO<sub>2</sub>排出量2013年度比25%減を目標としています。 (総量で25%減)</p> <p>2013年度 CO<sub>2</sub>排出量:4,857t-CO<sub>2</sub>/年(実績) 2021年度 CO<sub>2</sub>排出量:3,590t-CO<sub>2</sub>/年(実績) 2025年度 CO<sub>2</sub>排出量:3,184t-CO<sub>2</sub>/年(目標)</p> <p>又、自社では総量だけでなく原単位(生産台数)評価を実施しています。</p> $\text{原単位} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量}}{\text{生産台数}}$	

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度	(R8)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,352					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,542	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,542					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.865					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

## 5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

## (1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

## ■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	小型風力発電設備の導入	R4年度～	
2			
3			
4			
5			

## ■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	蓄電池の導入、土日非稼働時の太陽光発電分を蓄電出来ないか検討を進める
2	
3	
4	
5	

## (2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	1101.5 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	・太陽光発電設備の導入(1101.54kwh)				

## (3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( R4 )年度	( R5 )年度	( R6 )年度	( R7 )年度	( R8 )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	182,452				
上記のうち自家消費量	kWh	182,452				

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
<p>燃費向上のために開発、設計したエンジン部品シリンダーヘッドカバー(CHC)やインテークマニホールド(IM)を生産することで、D社低燃費車両生産に貢献。低燃費車向け製品を受注できるようS・Q・C・D・Eに力を注ぎ、客先の信頼を得る事で、D社より新製品受注を獲得。走行風の影響を軽減させるフェンダーライナーや3層構造で計量かつ吸音性の高いカーペットの生産を行い、低燃費車向け製品の生産に貢献し、より一層、低炭素社会づくりに寄与していきます。</p>	

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>客先の信頼を得るために、短納期での生産準備対応、勤務体系の見直しや人財確保を全社的に推進していく。 低燃費車向け製品を受注できるようS・Q・C・D・Eに力を注ぎ、客先の信頼を得る事で、継続して低燃費車向け製品の生産を行いCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに寄与していきます。</p> <p>(22年度4月～6月 計画台数と実績) ・シリンダーヘッドカバー(CHC) 計画:165,354台 実績:127,226台</p> <p>・インテークマニホールド(I/M) 計画:99,197台 実績:91,929台</p>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( R4 )年度	( R5 )年度	( R6 )年度	( R7 )年度	( R8 )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	3,453					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.351					
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( R4 )年度	( R5 )年度	( R6 )年度	( R7 )年度	( R8 )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0					
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0					
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	物流の合理化	グループ会社と連携して満載での輸送により 大型車輛の運行回数低減	R4年度～	
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				( R4 )年度	( R5 )年度	( R6 )年度	( R7 )年度	( R8 )年度
	保有車輛の数	台	5					
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0					
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	環境道場に「SDGsを考える訓練」を導入 全従業員にSDGsの達成に向け自分達ができる事を考える活動を推 進	R4年度～	
2	3R	環境道場に「資源と廃棄物の分別訓練」を10年前より導入、直近では 「分別で火災リスクを低減する訓練」を新たに追加し全従業員に教育 1回/月 分別調査会を実施	R4年度～	
3	生物多様性	森づくり活動(CO2吸収量認証制度証書受領) R3年度：10.67t-CO2	H29年～	
4				
5				